資料 1

神野まちづくり計画策定委員会名簿

【任期：平成21年9月～23年3月】

委員名	役　職　名	備　　考
松本　義雄	自治会長	
吉村　和之	副会長・公民館長	
西津　　強	副会長・甲山区長・区長会長	22年11月～23年3月
福井　道夫	幹事・神崎区長	23年1～3月
西本　精司	幹事・浦明区長	23年1～3月
能勢　吉春	幹事・長柄区長・副区長会長	22年11月～23年3月
岸本　　康	幹事・鹿野区長	22年11月～23年3月
的場　良一	副会長・鹿野区長・区長会長	22年1～12月
平林　順一	幹事・甲山区長・副区長会長	22年1～12月
泉　理代志	幹事・神崎区長	22年1～12月
吉岡　　暁	幹事・浦明区長	22年1～12月
森口　広志	幹事・長柄区長	22年1～12月
吉岡　英之	副会長・浦明区長・区長会長	21年9～12月
吉岡　　功	幹事・鹿野区長・副区長会長	21年9～12月
平林　良晴	幹事・甲山区長	21年9～12月
中村　正昭	幹事・神崎区長	21年9～12月
井尻　忠雄	幹事・長柄区長	21年9～12月
永井　力男	幹事・地域安全部長	
平林　宏道	幹事・活性化部長・公民館主事	
平林　克也	里力推進委員	22年11月～23年3月
瀬崎　久男	里力推進委員	22年11月～23年3月
中西　　豊	里力推進委員	22年11月～23年3月
黒田　昌彦	里力推進委員	22年11月～23年3月
吉岡　初代	里力推進委員	22年11月～23年3月
下田　浩二	里力推進委員	22年11月～23年3月
二瀬　　徹	里力推進委員	22年11月～23年3月
黒田　直正	里力推進委員	23年1～3月
森口　　亨	顧問・市議会議員	
後藤　正明	アドバイザー（市職員）	
中村　和美	事務局	

資料2

神野まちづくり計画審議経過

月	日	会議名	内容
9	3	幹事会	まちづくり事業について市より説明をうける
9	29	申請書提出	
10	8	幹事会	講演会、アンケート等検討
10	22	講演会	演題:地域つくりとは「人をつくる。地域をつくる。」 講師:大木満和氏
11	10	幹事会	アンケート内容検討
11	17		住民アンケート全戸配布
12	11	幹事会	アンケート結果
1	19	幹事会	日帰り視察の検討
1	31	幹事会	視察先 (株)名田庄商会　福井県大井町 水源の里(限界集落)老富地区　京都府綾部市 あやべ温泉「仁王の湯」 京都府綾部市
2	9	幹事会	視察報告　　アンケート結果分析
2	25		住民アンケート集計結果報告を全戸配布
4		実績報告書提出	
4	7	幹事会	区役員会等における協議について
4	19	申請書提出	
5	7	幹事会	講演会について
5	25	講演会	演題:久美浜一区のまちづくり 講師:友松裕也氏
6	9	幹事会	講演会検討
7	9	幹事会	事業計画検討
8	10	幹事会	会計中間報告
9	8	幹事会	村じまんについて
10	7	幹事会	住民アンケート結果と人口の推移について
10	21	幹事会(臨時)	
11	10	幹事会	
12	7	幹事会	
1	19	幹事会	
2	8	幹事会	
3	10	幹事会	神野まちづくり計画について(承認)
3	24	講演会	演題:丹後町の地域づくり 講師:東和彦氏

【資料3：神野地内の神社】

神野村鎮座の神社は村社５社無格社１１社で、うち式内社は丸太神社と熊野神社の２社であり、鹿野八幡神社と共に本村における古名社である。

字	神社名由緒等
甲山	丸田神社：式内村社（字甲山小字亀石） 【由緒】当社の創立は最も古く、垂仁天皇の朝川上麻須の勧請によるものという。大日本地名辞書にも「延喜式丸田神社は神野村大字甲山に存す」というのは即ち当社である。古くには祭礼にも神輿があり、盛んであったが慶長年中その古式を廃止したと伝えられている。拝殿の造営財産の充実とともに、大正１１年４月２５日神饌幣帛料供進神社として指定される。 境内神社：蛭児神社
	水無月神社（字甲山小字小平谷？） 【由緒】勧請年月不詳であるが、明応年間に社殿を建設し延享年中に再建されたもので、一般の崇敬が最も厚く代官の雨宮庄九郎氏の崇敬されたことも一般に伝わっているところである。
	厳島神社（字甲山小字西山） 【由緒】不詳
	天満宮（字甲山小字荒神森） 【由緒】勧請年月不詳であるが、文化年中に再建されたことは明らかである。
浦明	春日神社：村社（字浦明小字スタノヲウ） 【由緒】当社の創立年代などは不明であるが、鹿野より分離し、本鹿野八幡宮を氏神とし崇敬し、八幡宮は春日神社をも合祀している関係等により推察すれば、八幡神社の御祭神中春日大神の分霊を浦明に奉祀したものではないか、当社にある棟札中享徳３年１０月のものがあるが、創立とも再建とも明記がないので断定することはできないが、あるいは創立当時の棟札とも推察することができる。その後享保３年再建されたことは、丹羽廣次方に当時の普請帳があることで明らかである。なお延享５年３月再建の棟札があり、現社殿は当時の改築と推察できる。大正１１年に拝殿の再造営がされ偉観を呈する。 境内神社：山神社
	愛宕神社（字浦明小字スタノヲウ） 【由緒】不詳
	三柱神社（字浦明小字スタノヲウ） 【由緒】不詳
	稲荷神社（字浦明小字城ノ岡） 【由緒】不詳
	大養父神社（字浦明小字大藪） 【由緒】不詳

	大森神社（字浦明小字中地） 【由緒】不詳であるが古くより道先の神と崇められ伊勢参宮発足及び帰国の際に、社殿において親戚相そろって送迎する慣例がある。
	近江渡神社（字浦明小字大御） 【由緒】俗に四天王と称し、武将の木像４体を安置する。
神崎	雲晴神社：村社（字神崎小字宮ノ前） 【由緒】不詳 境内社：熊野神社 【由緒】勧請の年月は不明であるが、神山に鎮座の御分霊を祭祀していると伝えられている。
鹿野	八幡神社：村社（字鹿野小字天王山） 【由緒】大化元年２月卯の日の勧請と伝えられている。古くから領主の崇敬が厚く、社殿境内の荘厳さや祭儀の厳粛であることなど、今なお古例が存在する。丹哥府志に鹿野村大神宮祭８月１５日とあり、元来大神宮を主神と仰ぎ奉っていたが、明治以後神社調査の際、八幡神社と改称したものである。 境内社：住吉神社 【由緒】大化年中八幡宮を勧請するまで当社を氏神として崇敬していたと言い伝えられている。 ：稲荷神社 ：雲晴神社 石燈籠 【由緒】応永二四丁酉２月１６日と刻されている石燈籠がある。社殿と拝殿との中央左側に安置され、郡内の石燈籠の中で最も古いものである。
	愛宕神社（字鹿野小字古里ヶ山） 【由緒】不詳 境内社：秋葉神社 【由緒】不詳
	天神社（字鹿野小字荒岡） 【由緒】不詳
久美浜甲山神崎	熊野神社：式内村社（甲山神崎境界中央小字甲山） 【由緒】式内社にして、崇神天皇の代、丹波道主命川上麻須の郎女を娶り、五女を挙げられた。子女皆垂仁天皇の皇后が皇妃になられるのを祝って勧請され、宝殿は川上麻須の造営によると丹後舊事記等に説かれているところで、維新前には郡中の雨乞いなどをする時は必ず当社において行うことを例としていた。当社は山頂に鎮座されて郡の総社であるという。四方の展望絶景にして北は洋々たる日本海小天橋を眼下に見下ろすなど得がたい風趣がある、貞観１０年に従五位下を授けられる。当社は郡名の起源であり、古くから地方崇敬の中心であった。

【資料4：神野地内の仏閣】

字	神　社　名　由　緒　等
甲山	瀬野山　甲山寺（字甲山小字山根）真言宗高野山正智院末 【由緒】当山の創立は天平８年４月で、行基菩薩諸国遍歴のおり熊野神社を信仰のあまりここへ錫を留め、一宇の伽藍を建立し瀬野山甲山寺と號し、自ら三尊阿弥陀如来の尊像を彫刻安置し給えるところにて、阿弥陀如来は熊野神社の本地なりと伝わる。かつ庫裏に安置した本尊不動明王は、人皇５２代嵯峨天皇の御宇弘法大師真言密教を広めるため、諸国修行の際当国に来られ、小字七谷口に伽藍を建立し、末世の衆生を救わんと一刀三禮不動明王の尊像を石に刻み、これを本尊として利劔山大盤寺を創立された。天正年間に兵火にあいなくなったが、慶長年間に道徳の沙門この地に来られ庫裏を建立されるも、本尊がないことを嘆かれ熊野の神に祈願されたら、大盤寺跡に埋もれた不動明王を迎えよとの霊夢により今の庫裏に移されたという。
浦明	碧玉山　寶勝寺（字浦明小字上地）　臨済宗南禅寺派南禅寺末 【由緒】当山の創立年代などは不明であるが、その由来を考えると往古は天台宗にして、坂尻と称する山のその麓に原と瑠璃山寶勝寺という道場があり、日光寺の頽廃をなげき再興を図ったもので、一時は隆運に向かっていたがたまたま祝融の災いにかかり長い年月再興ができなかった。文明３年久美浜宗雲寺第４世寶山和尚がその泯絶の長きを嘆き、復興の祈願し地を上地にうらなって一宇の伽藍を建営し、山號を改めするする碧玉山と。それで寶山和尚を中興開山第一世の祖とし、宗旨を転じて臨済宗南禅寺派に属して中本山宗雲寺末となる。法燈ますます盛んにして現在に及ぶ。小字寶勝寺と言う丘陵は従前の寺跡でひとつに寺屋敷とも呼ぶ。現在安置されている本尊薬師瑠璃光如来は、往古日光寺より伝来の遺仏であり、本堂は２５０余年前の建築である。
神崎	金谷山　康雲寺（字神崎小字蟻か鼻）　真宗本派本願寺末 【由緒】往古日光寺と称する天台宗の巨刹があって、その末寺に属し日光寺の渓谷の中に金谷と称するところに伽藍を建立したことから金谷山と號したという。日光寺が廃絶後に大字浦明に再興した寶勝寺境内に移転したが、たまたま祝融の災いにかかり、ただ寺號を残しているのみとなっていたが、元禄２年６月１８日字神崎の信徒多くがこれを憂い、證山師を請じて康雲寺を現地に再興し、改宗して本派本願寺の末寺となった。そこで證山を開祖第一世と唱え現在に至る。
鹿野	鹿野山　最勝院（字鹿野小字愛宕根）　臨済宗南禅寺派宗雲寺末 【由緒】往古は真言宗にして氏神八幡宮のかたわらに別荘という地があり、七堂伽藍の道場があったがたまたま祝融の災いにかかり、廃絶すること長年にわたるが、長蔵坊という人が仏門に帰依し天文年間七坊の一なる最勝院を再興し、地名を山號として一宇の伽藍を建立し、宗雲寺第６世和屋大和尚を請じて開山と仰ぎ、改宗して臨済宗南禅寺派に属した。それにより長蔵坊を崇敬し開祖寶道祖権首座と唱えてきた。現在の本堂は寛保元年６代の祖松渓和尚の再建である。

資料4-1

「神野地域まちづくり計画」づくりのための住民アンケート

神野地区自治会

久美浜町から京丹後市となり６年目を迎えています。長年にわたり、国や地方は景気の悪化による財源不足に悩んでおり、私たちの身近な要望もなかなかかなえられません。

「市が広範囲で要望に応えてもらえない」「地域の声が届けにくくなった。」「合併後、市民局の職員も少なくなり私たちのことが忘れられているのではないか心配。」「区長が変るたびに要望が変わる。」「１年ごとの区長では継続した事業がすすめにくくなっている。」「自分たちの地域のことは、自分たちで決めたい。」などさまざまな地域の課題も見えてきました。

そこで、神野地区自治会では、五つの集落の想いを計画的に進めるために「神野地域まちづくり計画」を策定することといたしました。その上で、地域の声を集約し、京丹後市と協力協働し、誰もが住んでよかった・住み続けたい神野地区としていきたいと思います。

この計画策定にあたり、まず在住のみなさんの意見・要望を集約したいと考え、住民アンケートを実施します。みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

あなたご自身のことについておたずねします。
（ご家族のなかでどなたが回答していただいてもかまいません）

（該当する番号に○をつけてください）　問

１．あなたの性別は。

１．男性	２．女性

問２．あなたの年齢は。

１．16～19 歳	２．20～29 歳	３．30～39 歳	４．40～49 歳
５．50～59 歳	６．60～69 歳	７．70 歳以上	

問３．あなたのお住まいは。

１．甲山	２．浦明	３．長柄
４．神崎	５．鹿野	

問４．あなたのご職業は。

１．農林漁業（主として）	２．自営業（商業・工業・サービス業など）
３．勤め人（会社員など）	４．公務員、団体職員、教員
５．学生	６．家事専業
７．アルバイト、パートタイム	８．無職
９．その他（具体的に：　　）	

問５．一緒に住んでいるあなたの家族は。

（１）ご家族の人数はあなたを含めて（　　）人
（２）一緒に住んでいる家族の構成は。（１つに○） １．自分だけ　　２．夫婦だけ（一世代） ３．親と子（二世代）　　４．親と子と孫（三世代） ５．その他

ふだんの暮らしについておたずねします。

問６．　あなたは現在のお住まいに通算して何年くらい住んでいますか。（１つに○）

１．３年未満	２．３年以上～５年未満	３．５年以上～１０年未満
４．10 年以上～20 年未満	５．　20 年以上	

問７．集落内の住み心地はどうですか。

１．住みやすい	２．どちらかといえば住みやすい
３．どちらかといえば住みにくい	４．　住みにくい

問８－１．問７で①あるいは②と答えた理由は何ですか。（複数回答可）

１．生まれた時から住んでいる、または生まれた場所だから
２．自然が豊かで子育てに良い
３．人情が厚く人間関係が良い
４．その他（　　）

問８－２．問７で③あるいは④と答えた理由は何ですか。（複数回答可）

１．世間狭く干渉されやすい
２．公共施設（市役所・病院）が遠い
３．スーパー等買い物施設が遠い
４．文化施設・娯楽施設がない
５．その他（　　）

問８－３．地域の中で具体的に課題と思うことは何ですか。

（たとえば防犯灯が少ないなど）

問９．あなたは、この現在のお住まいに今後も住み続けようと思われますか。

あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．これからもずっと住み続けたい
２．いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい
３．現在、一時的に居住しているため、転居するかもしれない
４．できることなら転居したいが持ち家のためできない
転居したいと思われる理由を記述してください。

（　　）

５．わからない

神野地区の地域づくりについておたずねします。

問 10．あなたにとって神野地区の宝物はなんですか。（複数回答可）

１．かぶと山・久美浜湾・蓮池等の自然	２．元気で明るい地区のこどもたち
３．人間関係の良さ	４．暮らしやすさ（買い物・病院）
５．産業・就労の基盤がある	６．イベント・まつり
７．その他（　　）	

問 11．あなたは、将来、この神野地区がどのような地域であってほしいと思いますか。
（各項目から２つ以内を○）

生活基盤	１．道路・下水道などが整備・充実されたところ
	２．災害や事故のない安心・安全なところ
	３．高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせるところ
	４．医療体制と健康づくり施策が充実したところ
	５．保育所・幼稚園・学校の充実し、地域で子育てを進める
産業基盤	１．果樹等をはじめとする農林漁業を基盤とした地域づくり
	２．サービス業をはじめとして、働く場に恵まれた地域づくり
	３．多くの観光客が訪れ、交流人口の増加を目指す地域づくり
	４．企業誘致等外からの風を吹き込み活力ある地域づくり

自然・文化その他	1．地域資源（かぶと山・久美浜湾・蓮池）等を活用した地域づくり
	2．熊野信仰をはじめとする歴史的資源や祭り等伝統文化を生かす
	3．スポーツや文化活動のさかんなところ
	4．花いっぱい運動等地域の美化に努め自慢できる地域づくり
	5．ごみ減量やリサイクル活動など、環境問題に取り組むところ
	6．自治会の活性化により地域の人材を活用した地域づくり
その他（具体的に：　　）	

その他、自治会や地域づくりに関するご意見などがありましたらお書きください

ご協力ありがとうございました。

「神野地域まちづくり計画」住民アンケート集計結果報告

昨年１１月に実施しました住民アンケートではたくさんの方にご協力をいただき有難うございました。
集計が出来ましたので報告させていただきます。
なお、今回の集計内容の報告につきましては、主な設問のみとなっています。

H22.2.25　神野地区自治会

●アンケート回答率（有効回答数）について

配布枚数	回収枚数	回収率
399	269	67.4%

●住み心地について

項　　目	回答数	
住みやすい	110	(41.4%)
まあ住みやすい	116	(43.6%)
まあ住みにくい	31	(11.7%)
住みにくい	9	(3.4%)
総計	266	

●住みやすい理由（複数回答有）

項　　目	回答数	
生まれたときから住んでいるから	136	(47.6%)
自然が豊か	64	(22.4%)
人情が熱い	75	(26.2%)
その他	11	(3.8%)
総計	286	

●住みにくい理由

項　　目	回答数	
世間狭い	23	(28.4%)
公共施設が遠い	17	(21.0%)
買い物施設が遠い	23	(28.4%)
文化娯楽施設がない	13	(16.0%)
その他	5	(6.2%)
総計	81	

※神野地区の住み心地について

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると８５%にのぼり、多くの住民が地域の住みやすさを実感していることが分かる。

住みやすい理由としては、「生まれた時から住んでいる、または生まれた場所だから」を選んだ回答者が最も多く、約半数となっている。次いで、「人情が厚く人間関係が良い」（２６．２%）、「自然豊かで子育てに良い」（２２．４%）の順となっている。その他の回答としても、「静かで住みやすい」、「周りの友だちがよい」など、環境面や人間関係に関するものがあげられている。

なお、住みにくい理由としては、「世間が狭く干渉されやすい」、「スーパー等買い物施設が遠い」がいずれも２８．４%で最も多く、次いで「公共施設（市役所・病院）が遠い」（２１．０%）が続いている。その他の回答としては、「役の押し付け」、「村の行事が多い」などがあり、地域活動に対して負担を感じている回答も見られた。

■地域の課題

・道路に関する意見（道幅が狭い・整備・美化・防犯灯が少ない　等）
・働く場所が少ない（雇用職種が少ない・商業施設が少ない　等）
・後継者不足（独居老人世帯が多い・若者のＪターン優待促進　等）
・公共施設が遠い（公共交通が不便）　・何かと不便で生活基盤を築きにくい
・区や地域の役が負担である　・学校の統廃合
・助け合い思いやりに欠けている　・鳥獣被害対策
・一つの方向に一致団結して進みにくい傾向にある
・文化財、公民館、神社全般、作業場などの維持管理　他

《裏面へ》

●住み続けたいかどうか

項　目	回答数	
住み続ける	199	(78.3%)
いずれ戻る	5	(2.0%)
転居するかも	5	(2.0%)
出来ることなら転居	19	(7.5%)
わからない	26	(10.2%)
総計	254	

※今後の居住意志について

今後も現在の住居に住み続けようと思うかどうかの設問に対しては、「これからもずっと住み続けたい」が最も多く、約8割となった。一方「できることなら転居したいが持ち家のためできない」との回答が7．5%あり、その理由としては、雇用や後継者不足への不安、地域活動への負担などがあげられている。
また、同地域内への転居に関する回答も見られた。

●地区の宝（複数回答有）

項　目	回答数	
かぶと山・久美浜湾・蓮池等自然	187	(57.7%)
元気で明るい地区のこども	39	(12.0%)
人間関係の良さ	61	(18.8%)
暮らしやすさ（買い物・病院）	20	(6.2%)
産業・就労の基盤	6	(1.9%)
イベント・まつり	7	(2.2%)
その他	4	(1.2%)
総計	324	

※地域の宝について

神野地区の地域資源については、約6割が「かぶと山・久美浜湾・蓮池等の自然」との回答であり、地域の自然環境を宝と感じている方が多い事が分かる。これは、住みやすい理由にもつながっているものと考えられる。この他、「人間関係の良さ」「元気で明るい地区のこどもたち」の回答が上位を占めている。

●目指す地域像

生活基盤	道路・下水道などが整備・充実されたところ	40
	災害や事故のない安心・安全なところ	83
	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせるところ	145
	医療体制と健康づくり施策が充実したところ	88
	保育所・幼稚園・学校の充実し、地域で子育てを進める	49
産業基盤	果樹等をはじめとする農林漁業を基盤とした地域づくり	77
	サービス業をはじめとして、働く場に恵まれた地域づくり	114
	多くの観光客が訪れ、交流人口の増加を目指す地域づくり	79
	企業誘致等外からの風を吹き込み活力ある地域づくり	76
自然・文化その他	地域資源(かぶと山・久美浜湾・蓮池等)を活用した地域づくり	144
	熊野信仰をはじめとする歴史的資源や祭り等伝統文化を生かす	15
	スポーツや文化活動のさかんなところ	37
	花いっぱい運動等地域の美化に努め自慢できる地域づくり	38
	ごみ減量やリサイクル活動など、環境問題に取り組むところ	35
	自治会の活性化により地域の人材を活用した地域づくり	55

※神野地区の将来像について

生活基盤に関するものとしては、「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせるところ」の回答が最も多く、約３５%を占めている。

産業基盤については、いずれの項目も2割を超え、中でも「サービス業をはじめとして、働く場に恵まれた地域づくり」が最も多く、3割強の回答があった。

自然・文化その他については、「地域資源（かぶと山・久美浜湾・蓮池）等を活用した地域づくり」が約4割あり、これは将来像に関する設問全体を見ても最も多い回答であり、多くの方が地域資源の活用を望んでいることがうかがわれる。

※自治会や地域づくりに関するご意見もたくさん頂きました。
それらを参考にし、今後自分たちの住む神野地区が住みやすい理想の地域に少しでも近づけるよう、「神野地域まちづくり計画」の策定を進めていきたいと思います。
地区民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。

「神野地域まちづくり計画」づくりのための住民アンケート結果

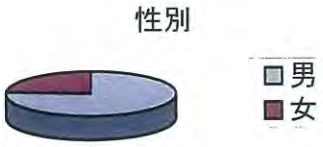
別添資料（アンケート調査表）の回答結果を基に、基本的な集計を行い、図表で整理した。

●アンケート回答率（有効回答数）について

配布枚数	回収枚数	回収率
399	269	67.4%

●問1：性別について

男	女	総計
205	64	269
(76.2%)	(23.8%)	



●問2：年齢について

年代	回答数	
10歳代	1	(0.4%)
20歳代	3	(1.1%)
30歳代	31	(11.5%)
40歳代	50	(18.6%)
50歳代	76	(28.3%)
60歳代	66	(24.5%)
70歳以上	42	(15.6%)
計	269	

●問3：住所について

集落名	回答数	
甲山	91	(33.8%)
浦明	42	(15.6%)
長柄	41	(15.2%)
神崎	62	(23.0%)
鹿野	33	(12.3%)
総計	269	

●問4：職業について

職業	回答数	
農林漁業	26	(9.7%)
自営業	42	(15.7%)
会社員	97	(36.3%)
公務員等	16	(6.0%)
学生	0	(0.0%)
家事専業	13	(4.9%)
アルバイト	18	(6.7%)
無職	49	(18.4%)
その他	6	(2.2%)
総計	267	

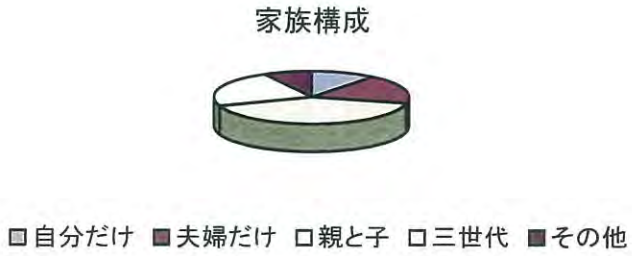
●問5：家族について

(1)家族数

家族数	回答数	
1人	29	(11.2%)
2人	50	(19.3%)
3人	57	(22.0%)
4人	51	(19.7%)
5人	34	(13.1%)
6人	16	(6.2%)
7人	17	(6.6%)
8人	4	(1.5%)
9人	1	(0.4%)
総計	259	

(2)家族構成

家族構成	回答数	
自分だけ	29	(10.9%)
夫婦だけ	47	(17.7%)
親と子	108	(40.8%)
三世代	60	(22.6%)
その他	21	(7.9%)
総計	265	



●問6：居住年数

年数	回答数	
3年未満	7	(2.7%)
3～5	7	(2.7%)
5～10	12	(4.6%)
10～20	28	(10.7%)
20年以上	208	(79.4%)
総計	262	

■回答者の属性(問1～問6)

回答者の特徴としては、約76%が男性であること、年齢層では50歳代、60歳代が多く、過半数を占めていることなどがあげられる。なお、10歳代、20歳代については、合わせても1%台と、少ない数値となっている。

住所地については、甲山(33．8%)の住民の回答が最も多く、次いで神崎(23．0%)となっている。

職業については、会社員からの回答が36%を超え、次いで無職(18．4%)、自営業(15．7%)の順となっている。

回答者の家族については、3人家族が最も多く(22．0%)、4人家族(19．7%)、2人家族(19．3%)と合わせると、全体の約6割を占めている。また、家族構成を見ると、二世代(親と子)の家族が4割を超えて最も多く、次いで三世代(22．6%)、夫婦のみ(17．7%)となっている。なお、家族数、家族構成の結果から、単身世帯が概ね1割程度あることが分かる。

また、約8割が居住年数20年以上の方の回答であることが分かる。

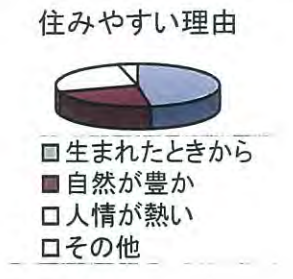
これらのことから、本アンケートの回答には、長年神野地区に居住している50歳代以上の男性の方の見解が色濃く反映されているものと思われる。

●問7：住み心地

住み心地	回答数	
住みやすい	110	(41.4%)
まあ住みやすい	116	(43.6%)
まあ住みにくい	31	(11.7%)
住みにくい	9	(3.4%)
総計	266	

●問8－1：住みやすい理由（複数回答有）

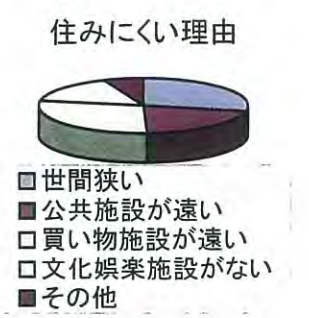
住み心地	回答数	
生まれたときから	136	(47.6%)
自然が豊か	64	(22.4%)
人情が熱い	75	(26.2%)
その他	11	(3.8%)
総計	286	



その他理由　・自然豊かで静かで住みやすい　・気楽で良い　・普通に暮らせる
・特に困ることや問題がないため　・土地がちかくにあったから
・生まれた場所ではないが周りの友達が皆さんよい方

●問8－2：住みにくい理由

住み心地	回答数	
世間狭い	23	(28.4%)
公共施設が遠い	17	(21.0%)
買い物施設が遠い	23	(28.4%)
文化娯楽施設がない	13	(16.0%)
その他	5	(6.2%)
総計	81	



その他理由　・道路整備がされていない　・いろいろ　・人間関係
・役の押し付け　・村の行事が多い
・車で宅地に入るのに近所のフェンスが出来て入りにくい

■神野地区の住み心地について（問7～問8）

神野地区の住み心地についての設問については、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると85%にのぼり、多くの住民が地域の住みやすさを実感していることが分かる。

住みやすい理由としては、「生まれた時から住んでいる、または生まれた場所だから」を選んだ回答者が最も多く、約半数となっている。次いで、「人情が厚く人間関係が良い」（26．2%）、「自然豊かで子育てに良い」（22．4%）の順となっている。その他の回答としても、「静かで住みやすい」、「周りの友だちがよい」など、環境面や人間関係に関するものがあげられている。

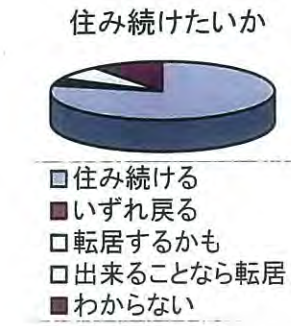
なお、住みにくい理由としては、「世間が狭く干渉されやすい」、「スーパー等買い物施設が遠い」がいずれも28．4%で最も多く、次いで「公共施設（市役所・病院）が遠い」（21．0%）が続いている。その他の回答としては、「役の押し付け」、「村の行事が多い」などがあり、地域活動に対して負担を感じている回答も見られた。

●問8－3：地域での課題

・道幅が狭く危険　・道路の整備や美化　・店がない
・商業施設が少ない　・行事等が多すぎる
・働く場所が少ない　・雇用職種が少ない
・少子化のため合併が必要（小学・中学）
・積極的な取り組みが少ない
・農業の高齢化　・病院が遠い
・地区内に児童公園が少ない
・これからの農業をいかにして所得を伸ばすか、所得保障（補償？）だけでなく
・助け合い思いやりに欠けている
・ひとつの方向に一致団結して進みにくくなっている感がある
・鳥獣被害があり困っている方の個人対策が多い（その為の出費もされている）
・久美浜中学校からの帰り道が狭くてとても危ない、防犯灯も少なく自転車専用道路が絶対必要
・公共交通が少ない（時間を多く）
・村の中の環境整備、古くてもきれいな村づくり
・後継者不足嫁不足高齢化
・若者（子供、20代～30代）が少ない
・湾内のジェットスキーを排除できないものか
・勤め人が多く区の役員になると大変（特に区長職）
・京都や大阪の行くのに時間がかかる。自動車道（高速道）へのアクセスが不利である
・中学校への通学の際バスの利用が出来ないこと
・学童保育が地域内に出来ると助かる
・文化財、公民館、神社全般、作業場など改築も含め維持管理（準備金）
・大雪のときの交通不便さ
・若者は各自車があるが高齢者等の交通手段が不便
・本通りの道が悪く雨水がたまり泥はねで歩行者や道路沿いの家屋は非常に困っている
・空き家になった家の前が急に暗くなる、要望から早く防犯灯設置をしてほしい
・大雨のとき海への排水路悪い
・何かと不便、生活基盤を築きにくい
・終日車のスピードが速く音がなく横断するとき恐い
・Ｊターンの優待促進（若者の）
・独居老人世帯が多いので情報伝達が届きにくい
・学校までの通学路が危険（歩道がない）
・街灯が少なく夜遅く自転車などで帰る高校生は危険（特に甲山駅）防犯灯が少ない
・積載オーバーのダンプが昼夜を問わずよく走り道路なり家屋に被害を与えているので取締りの強化が必要

●問9：住み続けたいかどうか

住み続ける	回答数	
住み続ける	199	(78.3%)
いずれ戻る	5	(2.0%)
転居するかも	5	(2.0%)
出来ることなら転居	19	(7.5%)
わからない	26	(10.2%)
総計	254	



＜出来ることなら転居したい理由＞

・今も良いがかぶと山のふもとに住みたい

・数十年すると海水面が上がるとの報告がある。長い目で見ると不安を感じる

・同じ区内でもう少し高い所に屋敷を持ちたい　・仕事が少ない

・跡継ぎがいない村なのですたれそうだから　・道路整備がされていない

・住み続けたいと思うが、子ども達が大変と思える　・行事が多すぎる

・今の世の中、土日祝日など仕事の人も多く地区の行事寄り合いなどが土日祝日に集中するため仕事を休まないといけないので行事が少ない地区へ移りたい

■今後の居住意志について（問9）

今後も現在の住居に住み続けようと思うかどうかの設問に対しては、「これからもずっと住み続けたい」が最も多く、約8割となった。

一方、「できることなら転居したいが持ち家のためできない」との回答が7．5%あり、その理由としては、雇用や後継者不足への不安、地域活動への負担などがあげられている。また、同地域内への転居に関する回答も見られた。

●問10：地区の宝（複数回答有）

地区の宝	回答数	
1.かぶと山・久美浜湾・蓮池等自然	187	(57.7%)
2.元気で明るい地区のこども	39	(12.0%)
3.人間関係の良さ	61	(18.8%)
4.暮らしやすさ（買い物・病院）	20	(6.2%)
5.産業・就労の基盤	6	(1.9%)
6.イベント・まつり	7	(2.2%)
7.その他	4	(1.2%)
総計	324	

＜その他回答＞

・若者、子供　・人柄、気楽さ　・海が近くにある

・都市と農村の交流　・日本海

■地域の宝について（問10）

神野地区の地域資源に対する設問については、約6割が「かぶと山・久美浜湾・蓮池等の自然」との回答であり、地域の自然環境を宝と感じている方が多いことが分かる。これは、問8－1の住みやすい理由にもつながっているものと考えられる。この他、「人間関係の良さ」（18．8%）、「元気で明るい地区のこどもたち」（12．0%）の回答が上位を占めている。

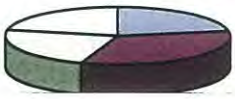
●問11:目指す地域像

生活基盤	1．道路・下水道などが整備・充実されたところ	40	(9.9%)
	2．災害や事故のない安心・安全なところ	83	(20.5%)
	3．高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせるところ	145	(35.8%)
	4．医療体制と健康づくり施策が充実したところ	88	(21.7%)
	5．保育所・幼稚園・学校の充実し、地域で子育てを進める	49	(12.1%)
産業基盤	1．果樹等をはじめとする農林漁業を基盤とした地域づくり	77	(22.3%)
	2．サービス業をはじめとして、働く場に恵まれた地域づくり	114	(32.9%)
	3．多くの観光客が訪れ、交流人口の増加を目指す地域づくり	79	(22.8%)
	4．企業誘致等外からの風を吹き込み活力ある地域づくり	76	(22.0%)
自然・文化その他	1．地域資源（かぶと山・久美浜湾・蓮池）等を活用した地域づくり	144	(44.4%)
	2．熊野信仰をはじめとする歴史的資源や祭り等伝統文化を生かす	15	(4.6%)
	3．スポーツや文化活動のさかんなところ	37	(11.4%)
	4．花いっぱい運動等地域の美化に努め自慢できる地域づくり	38	(11.7%)
	5．ごみ減量やリサイクル活動など、環境問題に取り組むところ	35	(10.8%)
	6．自治会の活性化により地域の人材を活用した地域づくり	55	(17.0%)

目指す地域像(生活基盤)

□1 ■2 □3 □4 ■5

目指す地域像(産業基盤)



□1 ■2 □3 □4

目指す地域像(自然・文化その他)

□1 ■2 □3 □4 ■5 □6

■神野地区の将来像について(問11)

神野地区の将来像については、複数回答(各項目から2つ以内を選択)で設問を行った。
生活基盤に関するものとしては、「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせるところ」の回答が最も多く、約35%を占めている。
産業基盤については、いずれの項目も2割を超え、中でも「サービス業をはじめとして、働く場に恵まれた地域づくり」が最も多く、3割強の回答があった。
自然・文化その他については、「地域資源(かぶと山・久美浜湾・蓮池)等を活用した地域づくり」が約4割あり、これは将来像に関する設問全体を見ても最も多い回答であり、多くの方が地域資源の活用を望んでいることがうかがわれる。

《その他自治会や地域づくりに関するご意見》

・自然豊かなのはいいが少し寂しい気がする。店をもう少し増やして住みよくしてほしい

・バイパス歩道の街灯を増設していただきたい。中学生がバスを降りた後真っ暗の中を歩いて帰宅しています。防犯対策を充実していただきたいです。

・現時点では景気も悪いまたデフレと先行き不安がある。地域づくりを活性化するためには、区民が何を望んでいるか気軽に意見・要望・アイディアが日時を問わず出せる場がほしい。

・地域でいくら頑張っても限界がある。合併により行政が遠くに行きすぎているがもっと行政の主導性が必要と思う。久美浜全体が置き去りにされている感がある

・久美浜町をはじめ京丹後の花嫁不足は深刻だと思います。この問題を何とかしないと何をしようとしても町が良くなることはないと思います。

・かぶと山の近くに“あじわいの里”のような施設があればいいなと思います。

・自然の豊かさを残したまま文化的で豊かな生活が出来るように、情報の発信、地域の連携をお願いしたい

・5集落の共同事業がもっとあるといい

・わが部落内（浦明）の道路について、どうしても年々自動車の交通量が多くなり道路の状況が悪くなり雨降り等の水溜りが多くなってきました。水溜り時の歩行者や道路沿いの家屋に泥はねの被害が増加してきました。泥はねしないように道路を修理してください。

・広域多面的な文化交流の場を創出できないものか。

・定住促進や少子化対策を目的として適齢層別の「出逢いの場」を作れないか（オールシーズン地域限定型）

・かぶと山の麓に眠っている畑を管理耕作し都会の人たちに貸与（四季それぞれの農作物を生産）

・巾広い層に呼びかけ「どっこいしょ！やったるで」コンサートをやれないものか。

・遊び心で考えればいいと思う。

・自治会が主体となった神野村的な地域づくりが活発になればよい。もっと自治会に多くの権限を与えて活動したらよい。

・「参加しないといけない！」と思われる作業、集会が多いと思う。

・農業は農業者、漁業は漁業従事者、作業分担がなされてないように思う。

・神野地域でなにか日本に誇れるようなものを考える。

・提案（創意工夫）制度を設ける。組単位で（隣組）提案をまとめた物を又は個人提案を公民館で発表（議論）し、そこで決めたらいいと思います。村づくりは住民全員が参加できるような優しい村づくりでなければ、持続できません。

・跡継ぎの人が都会で家を建てることが多いのでどうしても地区全体が過疎化してしまうので地元に残っている若者に負担がかかるのでつらいです。魅力ある町づくりをしなかった今の年配者にも責任がある

・非常に大変な時代となりましたが、ひつようなのは、①強力なリーダーの養成　②挑戦し失敗を恐れない　③支援組織の育成

・このアンケートだけで集約し地域づくりをまとめないでください。集約した結果を基にフィードバックをするなどして目に見える地域づくりを望みます

・自治会・公民館の機能を発揮されることを要望します。これからは5つの村ごとの発想から神野地区としての発想で事に当たることがとても大切かと思います。頑張ってください。

・公民館活動がやや形が化している傾向（運動会・球技大会他）

・かぶと山一周を有効に活用した一周歩道又はサイクリングコースなどの整備

・各地の特色を生かした地域づくり

・このようなアンケートで意見を集めることはいいことだと思うが集落の限定、回収方法などを考えなければ良い意見ばかりになるのでは？　言いにくいことがあまり言えないのでは？

・住人のほとんどの人が休日である日曜日に健康センターを開放し事務員を勤務させるべきだ。なぜ日曜日閉館したのか？

人口の推移

地区	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成２年	平成３年	平成４年	平成５年	平成６年	平成７年	平成８年	平成９年	平成10年	平成11年	平成12年
久美浜町	13,377	13,360	13,301	13,264	13,217	13,178	13,119	13,091	13,009	12,943	12,822	12,672	12,600	12,489	12,366	12,292
男	6,511	6,512	6,470	6,440	6,411	6,384	6,387	6,378	6,350	6,303	6,244	6,156	6,112	6,051	5,987	5,967
女	6,866	6,848	6,831	6,824	6,806	6,794	6,732	6,713	6,659	6,640	6,578	6,516	6,488	6,438	6,379	6,325
甲山	518	504	498	498	494	490	495	489	493	482	492	497	487	490	483	485
男	248	243	233	235	235	233	236	236	241	228	232	236	232	228	226	227
女	270	261	265	263	259	257	259	253	252	254	260	261	255	262	257	258
浦明	350	343	350	348	346	348	352	346	361	360	357	348	345	349	349	348
男	172	165	170	167	169	168	172	169	178	177	176	170	168	168	168	166
女	178	178	180	181	177	180	180	177	183	183	181	178	177	181	181	182
長柄	231	221	222	217	211	210	205	208	192	200	197	194	190	200	212	217
男	115	110	110	107	104	106	99	100	94	98	97	94	91	102	111	112
女	116	111	112	110	107	104	106	108	98	102	100	100	99	98	101	105
神崎	326	322	328	329	330	339	338	338	341	343	346	346	339	330	326	319
男	156	153	159	162	162	167	169	171	173	173	178	179	174	170	171	166
女	170	169	169	167	168	172	169	167	168	170	168	167	165	160	155	153
鹿野	177	181	187	189	190	186	188	187	181	174	169	169	168	162	160	157
男	94	96	99	98	97	95	95	95	95	92	90	90	90	85	83	81
女	83	85	88	91	93	91	93	92	86	82	79	79	78	77	77	76
神野合計	1,602	1,571	1,585	1,581	1,571	1,573	1,578	1,568	1,568	1,559	1,561	1,554	1,529	1,531	1,530	1,526
男	785	767	771	769	767	769	771	771	781	768	773	769	755	753	759	752
女	817	804	814	812	804	804	807	797	787	791	788	785	774	778	771	774

世帯数の推移

地区	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成２年	平成３年	平成４年	平成５年	平成６年	平成７年	平成８年	平成９年	平成10年	平成11年	平成12年
久美浜町		3,414	3,408	3,405	3,438	3,444	3,452	3,480	3,462	3,482	3,481	3,469	3,487	3,502	3,515	3,510
甲山		112	111	111	110	111	111	113	114	115	115	116	117	119	118	120
浦明		81	80	80	81	80	79	79	79	81	80	81	82	84	84	86
長柄		67	68	68	68	68	67	68	64	65	64	63	63	67	76	78
神崎		78	80	81	79	81	80	82	82	84	85	88	90	89	87	87
鹿野		41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	40	40	40
神野合計		379	380	381	379	381	378	383	380	386	385	389	393	399	405	411

平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
12,263	12,172	12,023	11,878	11,689	11,496	11,303	11,135	10,968	10,867
5,965	5,916	5,843	5,777	5,697	5,589	5,479	5,412	5,338	5,275
6,298	6,256	6,180	6,101	5,992	5,907	5,824	5,723	5,630	5,592
483	481	490	484	455	448	443	432	433	426
224	223	226	226	213	211	206	205	206	204
259	258	264	258	242	237	237	227	227	222
339	342	349	348	350	348	345	346	332	326
166	170	169	167	166	164	167	170	161	157
173	172	180	181	184	184	178	176	171	169
222	235	231	231	229	210	215	221	221	227
113	118	117	119	119	109	109	115	115	119
109	117	114	112	110	101	106	106	106	108
334	333	322	318	318	319	312	315	309	300
172	171	166	166	166	162	156	157	151	146
162	162	156	152	152	157	156	158	158	154
156	159	155	147	144	146	146	144	143	141
80	80	78	75	74	75	74	74	71	70
76	79	77	72	70	71	72	70	72	71
1,534	1,550	1,547	1,528	1,496	1,471	1,461	1,458	1,438	1,420
755	762	756	753	738	721	712	721	704	696
779	788	791	775	758	750	749	737	734	724

平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
3,522	3,541	3,558	3,569	3,571	3,615	3,603	3,608	3,610	3,630
121	120	127	128	125	126	129	130	132	129
86	87	92	94	94	94	92	96	97	96
81	85	83	81	80	76	79	78	74	75
91	92	93	94	97	100	100	100	98	97
40	41	41	42	42	42	43	43	40	40
419	425	436	439	438	438	443	447	441	437

資料7

ワークショップの意見

課題		将来像	（想定される取り組みイメージ）
雇用	働く場がない 地場産業がない	産業	・自分たちで直売所が出来たらいい ・特産物を全国へ ・神野地区農産物の直売所 ・観光農園がしたい 居酒屋・食堂などを5～6件作りたい ・公益、ギャンブル会場(久美浜湾でモーターボート) ・ヨットハーバーつくり ・大企業の工場誘致 ・農地を共同管理してほしい ・農地を整備し都会人にレンタル ・荒地を管理する法人を作る	直売・加工施設の整備 観光農園開設 直売所で食堂開設 ヨットハーバー整備 共同作業所建設 大型機械導入 生産法人の再編
農業	農地の荒廃 後継者問題 鳥獣害問題			
施設	スーパー・コンビニがない 食堂がない 居酒屋がない 公園がない			
観光	神野の魅力が活かされていない 観光地としての魅力が乏しい	観光	・国営を農業以外の観光地にする ・各地区の名所発見 ・キャンプ場にもっと人を呼ぶ ・神野駅を中心として観光めぐり ・神野駅の活用 ・久美浜湾に人口島をつくり観光客をよぶ ・山陰海岸ジオパークの活用 ・久美浜湾で泳げるように 釣堀 ・久美浜湾をもっと観光化 ・かぶと山にリフトを ・はす池公園の実現 ・祭(みこしの改修) ・神野地域の統一イベント(かぶと山公園まつり) ・神野地区で納涼祭	観光案内板、名所駒札設置 ハイキングコース設定 神野駅に直売所 久美浜湾東部総合レジャーランド かぶと山公園祭 神野地域納涼祭
環境	空き屋が増えている 幽霊ホテル 夜道が暗い 海が汚い・ゴミが多い ハス池、川の整備	環境	・花いっぱいの地域にする ・あたご山をアジサイ公園に ・村前川の美化 ・久美浜湾の美化 ・湾一周遊歩道(サイクリングリード) ・子育てが安心して出来るような施設設備環境 ・かぶと山を拠点とした取組 ・治安の良い地区 ・子供が外で遊べる ・大きい病院 ・神崎の木、花 ・今の文化財を整備しPR	神野美しい町づくり美化活動 湾沿いにコスモス園を 高齢者・子ども相互見回り隊 子ども110番
少子高齢化	独居老人が多い 高齢者が多い 後継者不足 子どもが少ない 嫁不足	交流・福祉	・都市との交流 ・嫁を呼ぶ ・老人サロンを各地区につくり交流 ・婦人会設置 ・老人と子供たちの集える部落	空き屋を活用した老人サロン 福祉弁当 相互見回り隊
道路・交通		道路・交通		

ワークショップまとめ【甲山地区】

神野地域の魅力、いいところ、好きなところ	
自然・景観	・かぶと山にはトウテイランなど豊富な植物がある ・海がきれいで海水浴をしても気持ちがいい ・久美浜の中心で海や山がある　・かぶと山から久美浜湾、日本海の景色 ・かぶと山展望台　・かぶと山は久美浜のシンボル ・雪が降る　・はす池 ・魚釣りが出来る　・広大な農地 ・貴重なメダカがいる　・自然がいっぱい
交通	・国鉄、ＫＴＲの交通に恵まれている　・国道が通っている ・駅が近い　・地の利が良い
文化財	・かぶと山山頂に熊野神社がある　・祭などの伝統が守られている
その他	・季節の食べ物がおいしい（米、果物、牛乳、酒） ・住んでいる人の人柄がよい　・人間性 ・子供が外で遊びまわる　・元気な子供

神野地域の課題、改善すべきところ	
少子高齢化	・人が集まらない　・青年も少ない ・子供が少ない　・高齢化 ・跡継ぎ問題
道路・交通	・交通網の整備　・通学路が狭いし危険がいっぱいある ・車がないと暮らしにくく店や病院が遠い
産業	・地場産業がない　・特産物を作る ・働く場所がない
農業・農地	・田畑を耕作する人が少なくなり荒地が多くなり、鹿熊が出て作物に被害が多い ・畑の荒れがひどいので利用を　・農業に展望がない ・有害鳥獣問題
施設	・商店がない　・遊び場がない
環境	・河海のゴミが多い　・亀が多くなり魚の数が減ってきた ・かぶと山に松が少なくはげ山になった　・ヒシがなくなった ・はす池の整備　・村前川、河上谷川の整備
人	・リーダーがない　・思いやり ・協力　・助け合い ・参加者が少ない　・改善に対する意欲不足 ・物事を他人事と考える　・遊び心
その他	・通信網の整備

神野地域の将来像、こうしたい、こうなればいい、夢を語ろう	
産業	・地場産作物等を多く作り売れて若い人が働く所もあり、楽しく生活できること ・特産加工場と販売場（直売場）　・多くの働く場所 ・明るい農業
施設	・はす池公園の実現（グランドゴルフ場、ゲートボール場、ふれあい広場、アスレチック、桜の花見、茶屋の新設、トイレ照明の新設、釣堀　等） ・出会いの場（合コン会場）
環境	・村前川の美化　・きれいな自然を残す ・子供が外で遊べる
その他	・誰もが幸せに暮らせて笑って暮らせて年寄りも若者も力合わせて頑張る部落 ・老人と子供たちの集える部落　・子供やお年寄りが安心して暮らせる ・神野地区で納涼祭　・若者が住める村 ・協力の精神　・誇りの持てる村 ・生きがいのある村

ワークショップまとめ【神崎地区】

神野地域の魅力、いいところ、好きなところ	
自然・景観	・美しい自然がたくさんある（久美浜湾、かぶと山） ・景色が素晴しい（かぶと山から見下ろした景色、久美浜湾の夕日、四季の景色） ・自然が残されている　・魚釣りが出来る
風土·人情	・柔らかな風土と環境　・人情が深い ・人が優しい　・人々の性格が丸くてよい ・近所付き合いがしやすい　・のどか
食文化	・梨桃その他果物が豊富　・食べ物がおいしい ・海の幸がおいしい
その他	・学校が近い　・神崎には肥えとり節(神崎舟唄)がある

神野地域の課題、改善すべきところ	
少子高齢化	・少子高齢化が進んでいる　・子供が少ない ・高齢化に伴い産業が荒れる　・農地を守ることが出来ない ・若者が都会へ出て行く　・独居老人が多い
道路・交通	・道路が狭い　・生活道路の改善（整備不足） ・都市部への道路アクセスが不便
雇用	・若者の働く場所がないから都会へ出てしまう（少子高齢化が進む） ・若者の働く場所　・産業雇用 ・今後、久美浜湾の自由化　・地場産業がない
農業・農地	・使っていない田畑の有効利用　・農地を守る、農地荒廃 ・農業する人の高齢化　・農地保全 ・農業の後継者　・鳥獣害
施設	・食品スーパーがない　・映画館がない
その他	・神野地区５部落が手を取り合い輪を作れていない ・自主、自立心を養う　・空き家が増えている ・祭がばらばら　・白鳥が来るように ・若者が定住できるよう住みやすく　・防災

神野地域の将来像、こうしたい、こうなればいい、夢を語ろう	
産業	・若者の働く場所の確保　・地元産業を活性化する ・地区の特産品で農地を守る　・地域特産物を地元で消費 ・農産品の販売先の確保　・農業で生活の維持が出来るように ・観光農園を作る　・先進的な情報をもっと流す ・企業誘致　・法的制約を緩和する
観光	・久美浜湾を観光地として整備し、サイクリングロード、釣堀など ・観光客を増やす　・自然を大切にして観光客の招致 ・かぶと山にリフトを
人口 コミュニティ	・地域の人々が豊かな生活が出来るように ・お年寄りから子供までの楽しい家族つくり ・神野地域の統一イベント(かぶと山公園まつり) ・人口が増えて(若者)活気のある町　・笑顔のある地域つくり ・他地区から神野地域に　・婦人会設置 ・高齢者が暮らしやすい　・神崎に活気がある
自然	・久美浜湾の美化（浄水、海水浴が出来るように） ・ゴミのないきれいな地域つくり　・白鳥の飛来 ・神崎の木、花
交通	・道路整備

ワークショップまとめ【浦明地区】

神野地域の魅力、いいところ、好きなところ	
自然・景観	・環境（自然）に恵まれている ・海と山がある ・空気がきれい ・夕焼けがきれい ・雪が降るので季節を感じられる ・鹿やきじがいる ・かぶと山があり久美浜湾に面している ・豊岡や峰山にいくのも近い
人間関係	・浦明はグループがありグループごとにまとまっている ・小学校区と地区が同じで、集落も５つと少ないのでまとめやすい ・人と人のふれあいがあり知らない人が少ない ・集落が近いので顔見知りが多い ・子供をのびのび育てられる
産物	・食べ物がおいしい ・海の幸、山の幸が豊かでおいしい ・桃源郷
施設	・かぶと山にキャンプ場がある ・駅が二つある
その他	・地域ごとの行事が多い ・年をとっても農業が出来る

神野地域の課題、改善すべきところ	
少子高齢化	・子供、若者が少なく活気がない ・高齢者が多い ・独身者が多い（出会いの場がない） ・農業の後継者不足
道路・交通	・交通の便が悪い ・車がないと便利が悪い ・都会(京阪神)が遠い ・道路が狭い ・公共交通の改善(KTRとバスの増便) ・高速道路がない ・連絡船の就航(久美浜湾) ・歩いて移動しにくい
施設	・買い物をする所がない ・文化施設がない
雇用	・働く場所が少ない ・大きな会社がない ・仕事がない ・
観光	・観光地としての魅力が乏しい
その他	・夜道が暗い ・税金が高い ・遊んでいる土地が多い

神野地域の将来像、こうしたい、こうなればいい、夢を語ろう	
産業	・高齢者、女性も仕事が近くで出来ればいい ・自然を残したままで豊かな産業 ・地区で名産が出来ればいい ・目玉商品(例、果物焼酎)で村おこし ・日本に誇る特産物や地場産業の発展 ・風力発電、原発 ・大企業の工場誘致 ・収入が増えればいい ・農業や林業で生活できたらいい ・農地を共同管理してほしい ・荒地を管理する法人を作る ・農地を整備し都会人にレンタル ・公益、ギャンブル会場(久美浜湾でモーターボート)
雇用	・職場の確保 ・自然を生かした雇用つくり ・地域で働く場所つくり
施設	・子育てが安心して出来るような施設設備環境がほしい ・服や物を次世代にまわせるような施設があればいい ・大きい病院 ・大きい公園 ・大きい体育館 ・大きい運動場
観光	・かぶと山、久美浜湾を観光地 ・都会より観光に来やすい場所に ・農業と海を生かした観光 ・キャンプ場の造営 ・せっかくの自然をきれいに有効利用 ・よくあたる占い師、霊能者をよぶ
環境	・久美浜湾で泳げるようにしたい ・子供や老人が安全に外出できる地区 ・子供や若者が増えればいい ・子供たちのUターン ・人口がもっと増えてほしい
交通	・高速道路 ・道幅を広くしてほしい ・京阪神に早く行ける様になればいい ・交通のネットワーク ・都会から人が多く来ればいい

ワークショップまとめ【長柄地区】

神野地域の魅力、いいところ、好きなところ	
自然・景観	・山、川、海（かぶと山、久美浜湾、砂浜など）がある ・市内で１番の桃畑がある　・久美浜湾の夜景
食べ物	・おいしい食べ物、上手にやれば全国発送できる ・新鮮な魚介類がある（牡蠣養殖）　・食べ物がおいしい（果物、野菜など）
遊び	・魚釣りが出来る（桟橋がある）
施設	・診療所がある　・消防署がある ・駅がある

神野地域の課題、改善すべきところ	
少子高齢化	・子供が少ない　・年寄りが多い ・独身男性が多い　・嫁がない
道路・交通	・道が狭いところがある　・歩道がない ・交通の手段　・タクシーがない
施設	・居酒屋（飲み屋）がない　・買い物するスーパーが少ない ・公園（子供の遊び場）が少ない　・人の集まる場所（飲み屋）がない ・若い人たちの遊ぶ場所がない　・レジャー施設がない ・コンビニがない
雇用	・仕事がなくて若い人が住めない　・働く場が少ない ・若い人の働く場がない
環境	・幽霊ホテルがある　・街灯が少ない ・町が暗い　・空き家が多い ・隣の土地が草ボーボー　・海が汚い
その他	・婦人会があっても良い　・観光客の増

神野地域の将来像、こうしたい、こうなればいい、夢を語ろう	
産業	・長柄は神野の中心地なので、居酒屋・食堂などを5~6件作りたい ・若い人が都会から帰ってこれたらよい　・大きな会社がきてほしい ・新しい産業の創造
観光	・四季を通して観光客のこれるような町つくり ・人がたくさん来る観光地にしたい　・神野駅を中心として観光めぐり ・リゾート地になってほしい　・グァムみたいになりたい ・久美浜湾に人口島をつくり観光客をよぶ
施設	・ヨットハーバーつくり　・テニスコートあり ・野菜その他の売店　・動物園、遊園地 ・競艇場があったらいい　・もう一度原発がきてほしい
環境	・自然環境は大切にしつつ適度な開発を　・山陰海岸ジオパークの活用 ・神野駅の活用　・治安の良い地区
その他	・若い人が増えればよい　・祭（みこしの改修） ・規則解除

ワークショップまとめ【鹿野地区】

神野地域の魅力、いいところ、好きなところ	
自然・景観	・自然に恵まれている（久美浜湾・はす池・かぶと山・アカシアの花） ・海と山がある　・魚釣りが出来る ・砂丘地がある　・水がおいしい ・豊かである　・食べ物がおいしい ・果樹・農業が盛ん　・鹿野国営からの眺めは最高である ・野生の動物がいっぱいいる
人間性	・外に出た息子がここが大好きだといってくれる ・素朴な人間性　・優しい人が多い ・人情が厚い　・年寄りが元気
文化財	・熊野神社　・鹿野城祉跡 ・神社や寺がある
施設	・診療所がある　・駅が二つある
観光	・牧場（ヒラヤミルク）がある　・焼物など陶芸が出来る ・温泉が近い　・キャンプ場がある ・造り酒屋（玉川）がある
その他	・バイパスが通っている

神野地域の課題、改善すべきところ	
少子高齢化	・子供が少ない　・若い人が少ない ・独居家族が多い　・嫁不足
道路・交通	・鹿野区にはKTRが長々とあり、支障となることがある ・京阪神に出るまでに時間がかかりすぎる ・交通が不便　・公共交通の本数が少ない ・道路が整備されていない　・高速道路がない
施設	・飲食店（食堂、レストラン、居酒屋）が少ない ・見学する施設があるようで少ない　・ホテルが邪魔
雇用	・お店がない　・子育てしながら働ける場所がない ・産業が少ない
その他	・空き家が増えている　・動物が出る ・神野地区の魅力が生かされていない　・物価が高い ・荒地が目立つ　・夜、人通りが少なく怖い

神野地域の将来像、こうしたい、こうなればいい、夢を語ろう	
全体	・子供からお年寄りまで笑顔の絶えない地域づくり ・老人サロンを各地区につくり交流を深める ・みなが仲良くする　・嫁を呼ぶ
雇用	・職場の確保　・自然を生かした雇用つくり ・地域で働く場所つくり
産業	・自分たちで直売所が出来たらいい　・観光農園がしたい ・特産物を全国へ　・二次産業で食べれるようにしたい ・神野地区農産物の直売所
観光	・国営を農業以外の観光地にする ・各地区の名所発見 ・観光を生かすため高速道路の接続
環境	・花いっぱいの地域にする（眺めをよくする） ・今の文化財を整備しＰＲする　・あたご山をアジサイ公園にする ・久美浜湾をもっと観光化できないか　・かぶと山を拠点とした取組 ・湾一周遊歩道（サイクリングリード）　・若者たちが帰ってこれる環境つくり ・誰でも海で貝や魚を取れるように
交流	・都会から人に来てもらう ・都市との交流 ・キャンプ場にもっと人を呼べないか